



2024年5月9日

各位

会社名 豊トラスティ証券株式会社  
代表者名 代表取締役社長 安成政文  
(コード番号：8747、東証スタンダード市場)  
問合せ先 専務取締役管理本部長 多々良孝之  
(TEL.03-3667-5211)

### 2024年3月期連結及び個別業績見通しに関するお知らせ

2024年3月期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の連結及び個別業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2024年3月期の業績速報値及び業績の差異

##### (1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	純営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
当期速報値 (2024年3月期)(A)	7,402	7,386	1,994	2,098	1,430
前期実績 (2023年3月期)(B)	6,874	6,856	1,529	1,605	888
増減額(A-B)	527	530	464	492	541
増減率(%)	7.7	7.7	30.3	30.7	61.0

##### (2) 個別

(単位：百万円)

	営業収益	純営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
当期速報値 (2024年3月期)(A)	7,407	7,393	2,087	2,181	1,388
前期実績 (2023年3月期)(B)	6,902	6,885	1,644	1,733	1,033
増減額(A-B)	504	508	442	447	355
増減率(%)	7.3	7.4	26.9	25.8	34.4

#### 2. 差異が生じた理由

##### (1) 連結業績見込み

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和される中において、3月の日銀短観にて発表された業況判断指数(DI)は、大企業・製造業においては一部メーカーの不正問題を受けて4四半期ぶりに低下しましたが、大企業・非製造業はインバウンド需要の回復や価格転嫁によるマージンの拡大により景況感は一段と改善を見せております。先行きの経済は、雇用と所得の改善、株高による資産効果を背景とし、個人消費を中心に内需主導で緩やかな回復が続く見通しであります。

一方、世界経済は、米国では好調な雇用情勢と所得環境を維持するなか、製造業、非製造業共に景況感が改

善し、個人消費を中心に堅調に推移しております。中国では春節需要による個人消費の増加や、政府のインフラ整備による固定資産投資の回復により2月の購買担当者景気指数（PMI）は製造業においては横ばいに推移し景況感の悪化は鈍化傾向にあり、非製造業においては持ち直しの動きを見せております。先行きは、米国においては金融環境の引き締めが企業部門の経済活動の下押しとなるものの、良好な雇用・所得環境と供給力の回復が個人消費を下支えに景気は引き続き堅調に推移する見通しであり、中国においては住宅市場の不振と消費の回復力の弱さ、不動産不況の継続が重石となり、景気は再び減速するものと見込まれます。

このような環境のもとで、当社グループの当連結会計年度の商品デリバティブ取引の総売買高 1,223 千枚(前年同期比 1.6%減)及び金融商品取引の総売買高 2,916 千枚(前年同期比 25.9%減)となり、受入手数料 7,333 百万円(前年同期比 5.2%増)、トレーディング損益 16 百万円の損失(前年同期は 153 百万円の損失)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は営業収益 7,402 百万円(前年同期比 7.7%増)、純営業収益 7,386 百万円(前年同期比 7.7%増)、経常利益 2,098 百万円(前年同期比 30.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 1,430 百万円(前年同期比 61.0%増)を計上する見込みであります。

## (2) 個別業績見込み

個別業績の対比につきましては、営業収益 7,407 百万円(前年同期比 7.3%増)、純営業収益 7,393 百万円(前年同期比 7.4%増)、経常利益 2,181 百万円(前年同期比 25.8%増)、当期純利益 1,388 百万円(前年同期比 34.4%増)を計上する見込みであります。

以 上